

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

令和7年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟水道サービス		
所在地	新潟市中央区紫竹山1丁目5番10号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 川井 直光 新潟市水道局職員OB	電話番号	025-241-1221
市所管課	水道局総務部 総務課	ホームページ	http://www.niigata-ss.jp/
		電子メール	suidousa-bisu@niigata-ss.jp
基本財産 (基本金)	0 千円	設立年月日	昭和45年7月22日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市水道局	1,800 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	市民が安心して水道を使えるよう支援することを通し、文化的な市民生活の維持向上に寄与することを目的とする。 ①給水装置の診断及び調査事業 ②水道事業に関する知識の醸成事業 ③給・配水設備の維持管理に関する事業 ④その他この法人の目的を達成するために必要な事業		
経営理念 経営方針	水道事業に関する公益法人として、給水装置の診断・調査や水道施設の見学説明会などの知識の醸成事業等、新潟市民が安心して水道を使えるためのサポート事業を展開していく。		

2. 主要事業

事業名①	給水装置の診断及び調査事業							
事業概要	(概要) 単身高齢者世帯を対象に給水装置を調査・診断し、アドバイスや簡易な補修を行う、あんしん水道診断を実施している。 また、水道メーター検針の結果、異常水量と判定された世帯を訪問・調査し、漏水対応等のアドバイスを行っている。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 水道使用における安心の確保と水資源の有効利用に寄与・貢献している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公益事業	-	支出額	千円	予算	117,958	118,555	123,886	140,130
				決算	118,941	119,642	123,711	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
あんしん水道診断	R7	件	230	-	-			
	R6	件	200	228	事業の認知度向上のため			
	R5	件	190	213	市内3巡目の診断となり事業の認知度向上が見られた			
	R4	件	140	177	3年ぶりの実施となったが、お客さまニーズは高い			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
検針結果に基づいた漏水等調査	R7	件	11,000	-	-			
	R6	件	12,600	7,011	漏水件数減少のため			
	R5	件	12,600	7,285	漏水件数減少のため			
	R4	件	12,600	8,364	漏水件数減少のため			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R7							
	R6							
	R5							
	R4							
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	あんしん水道診断については、満足度も高く、少子高齢化により、今後さらに需要が高まっていくことが予想されるため、当該事業が確実に実施できるよう、支援・指導を行っていきたい。 また、漏水等調査については、近年漏水件数の減少に伴いその実績が減少しているが、的確な調査の実施により、お客さまの財産を守ると共に、水道水の安定的な供給に寄与している。							

2. 主要事業

事業名②		水道事業に関する知識の醸成事業						
事業概要	(概要) 浄水場などの施設見学や、水道関連施設を巡るバスツアーを実施している。また、新潟市水道局広報紙「水先案内」を作製している。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 水道事業への理解と関心を深めることに寄与・貢献している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公益事業	-	支出額	千円	予算	20,522	15,020	16,004	16,991
				決算	18,853	14,192	13,407	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
「小学校授業」及び「福祉バス」における浄水場等施設見学の参加者		R7	人	4,100	-	-		
		R6	人	5,300	4,204	実施回数はコロナ以前まで回復したが、少子化により未達成となった		
		R5	人	5,300	3,524	5類移行直後であったことにより参加者数が伸びなかった		
		R4	人	5,300	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
「“水の都”新潟みず探訪バスツアー」及び「動く親子水道教室」の参加者		R7	人	200	-	-		
		R6	人	200	178	参加者都合によるキャンセルがあったため		
		R5	人	200	161	5類移行直後であったこと、天候不良であったことによりキャンセルが増加したため		
		R4	人	225	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
「広報紙」の作製・配布 ※指標の変更 R4以降：作製数 R3以前：配布数		R7	件	1,338,800	-	-		
		R6	件	1,328,000	1,328,000	計画通りの実績		
		R5	件	1,328,000	1,328,000	計画通りの実績		
		R4	件	1,340,000	1,340,000	令和4年度以降、作製部数を記入。計画通りの実績		
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		活動指標①②については、実施回数はコロナ前に回復したものの参加人数は伸び悩んでいる状況にある。今後もアンケート等の参加者の声を踏まえて行程を再検討したり、若年層をターゲットとした企画、募集方法の見直しを行うなどの改善を図り、より効果的な事業となることを期待する。						

2. 主要事業

事業名③		給・配水設備の維持管理に関する事業						
事業概要	(概要) 道路及び宅地内の漏水等の問い合わせに対し、電話受付から現地調査、市民への説明、施工業者への連絡・指示・現場立ち合いなど一連の対応を行っている。また、小規模貯水槽水道の衛生指導を行っている。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 水道使用における安心・安全の確保と水資源の有効利用に寄与・貢献している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公益事業	-	支出額	千円	予算	98,232	94,472	100,165	113,804
				決算	96,199	96,581	102,164	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
漏水等電話受付業務	R7	件	11,000	-	-			
	R6	件	12,000	10,236	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
	R5	件	12,000	13,483	能登半島地震の影響で増加			
	R4	件	12,000	13,210	寒波のため増加			
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
現場対応修繕業務	R7	件	2,200	-	-			
	R6	件	3,300	1,754	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
	R5	件	3,300	2,240	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
	R4	件	3,300	2,100	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
小規模貯水槽衛生管理指導業務	R7	件	150	-	-			
	R6	件	150	150	計画通りの実績			
	R5	件	150	150	計画通りの実績			
	R4	件	150	150	計画通りの実績			
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		お客さまからの問い合わせに対して、電話受付から修繕サービスに至る一連の対応を確実に実施することで、お客さまの信頼性向上に寄与している。また、貯水槽清掃の指導についても、計画通り確実に業務を遂行できていたことから、今後もこの水準を維持し、適切な貯水槽水道の維持管理に資するよう、当該事業の支援・指導を行っていく。						

2. 主要事業

事業名④	口座データ入力等業務受託事業							
事業概要	(概要) 「口座振替依頼書」の確認及びこれに基づくデータ入力を行っている。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 円滑な水道料金徴収に寄与・貢献している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収益事業	受託事業	支出額	千円	予算	9,319	9,775	10,235	759
				決算	6,517	9,828	9,863	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
口座データ入力件数		R7	件	4,000	-	-		
		R6	件	26,200	23,967	スマートフォン決済導入の影響により微減		
		R5	件	26,200	24,416	スマートフォン決済導入の影響により微減		
		R4	件	26,200	25,658	ほぼ計画通りの実績		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R7						
		R6						
		R5						
		R4						
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
		R7						
		R6						
		R5						
		R4						
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		これまで、円滑な水道料金徴収に寄与・貢献してきたが、スマートフォン決済の導入などにより、当初のような経済性が見出せなくなってきた。そのため、令和7年度から本業務については当財団への委託をやめ、水道局直営で行っている。						

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和7年7月1日 現在 (単位:人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
役員数		8	8	8	8
常勤	市派遣				
	市職員OB	2	2	2	2
	プロパー役員				
	他団体からの派遣				
	非常勤	6	6	6	6
非常勤	市兼任	3	3	3	3
	市職員OB				
	他団体兼任				
	その他	3	3	3	3
職員数		50	46	48	46
常勤	市派遣	1	1	2	2
	市職員OB				
	プロパー職員	25	24	24	24
	他団体からの派遣				
非常勤	市兼任				
	市職員OB	3	3	4	4
	他団体兼任				
	その他臨時・嘱託等	21	18	18	16
見直し等の取組み					

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

*市兼任も除く

令和7年7月1日 現在 (単位:人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
職員の状況	管理職				
	一般職	49	45	46	44
	合計	49	45	46	44
年齢構成	20代以下	0	1	1	0
	30代	10	10	7	6
	40代	15	15	16	16
	50代	13	12	15	15
	60代以上	11	7	7	7
	合計	49	45	46	44

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(予算)
報酬・給与等	210,566	202,340	213,623	221,965
内 市職員分	1,066	1,246	2,066	1,081
役員	7,601	7,712	7,888	9,829
常勤	7,601	7,712	7,888	9,829
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	202,965	194,628	205,735	212,136
常勤	141,631	135,510	143,758	149,912
内 市職員分	1,066	1,246	2,066	1,081
非常勤	61,334	59,118	61,977	62,225
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員	3,801	3,856	3,944	4,915
常勤職員	5,623	5,594	5,904	6,201
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般正味財産増減の部	経常収益	312,763	302,122	313,823
	基本財産運用益			
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	311,584	300,255	312,504
	自主事業収益	48		
	受託事業収益	311,536	300,255	312,504
	受取補助金等・負担金		897	884
	その他経常収益	1,179	970	435
	経常費用	311,605	303,921	316,740
	事業費	305,155	296,984	309,675
	公益目的事業費	291,655	283,780	296,274
	収益目的事業費	13,500	13,204	13,401
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	6,451	6,937	7,065
	評価損益等調整前当期経常増減額	1,158	▲1,800	▲2,916
	評価損益等			
	基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	1,158	▲1,800	▲2,916	
経常外収益				
経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	1,024	▲1,899	▲2,986	
一般正味財産期首残高	31,892	32,916	31,016	
一般正味財産期末残高	32,916	31,016	28,030	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他(基本財産運用益)			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額			
	当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額			
	基金期首残高			
基金期末残高				
正味財産期末残高		32,916	31,016	28,030

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	243,494	235,915	247,636
役員分	9,017	9,080	9,140
職員分	234,476	226,835	238,496

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産の部	資産の部合計	106,287	111,044	112,701
	流動資産	59,731	70,068	71,709
	現金預金	30,471	40,435	42,213
	未収金	28,854	29,459	29,495
	有価証券			
	その他流動資産	405	175	
	固定資産	46,556	40,976	40,993
	基本財産			
	特定資産	46,536	40,952	40,952
	その他固定資産	20	25	41
	有形固定資産			
無形固定資産				
その他投資等	20	25	41	
負債の部	負債の部合計	73,371	80,028	84,671
	流動負債	30,902	33,936	32,001
	短期借入金			
	その他流動負債	30,902	33,936	32,001
	固定負債	42,470	46,092	52,670
	長期借入金			
その他固定負債	42,470	46,092	52,670	
正味財産の部	正味財産の部合計	32,916	31,016	28,030
	基金			
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産			
	うち補助金			
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	32,916	31,016	28,030
	代替基金			
その他一般正味財産	32,916	31,016	28,030	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)	7,554	7,554	7,554	
負債の部及び正味財産の部合計	106,287	111,044	112,701	

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市財政支出等の合計	311,536	301,152	313,388
補助金		897	884
事業費補助金		897	884
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	311,536	300,255	312,504
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	311,536	300,255	312,504
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 （税や使用料の減免、建物の無償貸与等）	事務所使用料免除		

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

<p>事業費補助金は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、浄水場施設等を巡るバスツアーを中止したことから令和4年度は交付されていないが、当業務再開に伴い令和5年度から補助金を支出している。</p> <p>委託のうち随意契約を行うにあたっては、当財団のもつ専門性やノウハウ等を鑑み、業務の種別ごとに水道局と同水準のサービスがより経済的に提供され、業務効率化に寄与できるかを判断基準としている。</p>

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
純資産	32,916	31,016	28,030
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拠出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	32,916	31,016	28,030

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常損益	当期経常増減額	1,158 千円	▲1,800 千円	▲2,916 千円
自己資本比率	純資産	31.0 %	27.9 %	24.9 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	193.3 %	206.5 %	224.1 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	61.8 %	53.1 %	50.8 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	32,916 千円	31,016 千円	28,030 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	93.6 %	93.4 %	93.5 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	8.86	9.15	10.57
	遊休財産額			
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有 ● 無	→	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。
				② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。
				③ 資金運用に関する情報収集に努めている。
				④ 元本割れのリスクはない。

（2）団体の自立性

指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	3.8 %	4.0 %	7.7 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	99.6 %	99.7 %	99.9 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額 市委託料	100.0 %	100.0 %	100.0 %

（3）経営の効率性

指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	6,232 千円	6,527 千円	6,511 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	23 千円	▲39 千円	▲61 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	2.1 %	2.3 %	2.2 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	129 千円	151 千円	147 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	77.9 %	78.1 %	78.9 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	3.7 %	3.8 %	3.7 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称 [公益財団法人 新潟水道サービス 中期計画] 計画期間 [令和7 ~ 令和11] 年度 概要・数値目標 中期計画では、中長期的な視点で少子高齢化社会、人口・水需要の減少、施設の老朽化等の外部環境の変化と水道事業の動向を見据え、市民の皆さまが安心して水道を使用することを支援する事業及び事業規模を設定している。計画値については、外部環境の変化を踏まえながら適宜見直しを行い、効率的に事業を推進していく。
無	未策定理由 []

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種 []	● 有	依頼時期 平成22 年度～ 依頼先職種 [公認会計士]
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 令和6 年度～ 令和6年度から組織全体の業務量の平準化を目的にグループ制を導入した。また、執務室を統合し、効率化を図ったことで、時間外勤務時間数の大幅な縮減につなげた。
無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 令和2 年度～ 日本水道協会等の研修へ積極的に参加するとともに、「給水装置主任技術者」「水道施設管理技士」「配水管技能者」等の資格取得を奨励している。
無	

⑤ 情報公開に関する規程の整備状況			
● 有	策定時期 平成12 年度～ 規程名称 [財団法人新潟水道サービス情報公開規程] ※平成26年度からの名称「公益財団法人～」	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成 19 年度～
無	未整備理由 []		● 事業内容 平成 19 年度～
			● 役員名簿 平成 19 年度～
			● 役員報酬 平成 19 年度～
			● 事業報告 平成 19 年度～
			● 正味財産増減計算書 平成 19 年度～
			● 貸借対照表 平成 19 年度～
			● 事業計画書 平成 19 年度～
			● 予算概要 平成 19 年度～

改善対応区分 A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む) B: 改善の取組の効果が始まっている C: 改善の取組に着手 D: 改善の取組に向けて検討中 E: 今は実施せず今後の課題とする
--

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		「経営基盤の安定化」については、公益目的事業比率の達成自体を目標として取り組むのではなく、市民生活の維持向上に有効な公益目的事業とは何かを検討し、その効果的な実施に取り組むことを目標とするべきである。					
改善のために取り組んだ内容		アンケート等を元に事業の効果的実施について検証・改善を行った。					
取り組みによる成果		アンケート結果から、あんしん水道診断、バスツアー共に概ね満足いただけたと感じている。引き続き、事業の効果的実施に取り組む。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	あんしん水道診断アンケート調査(満足度・その他意見等) (%)	計画	98.0%	98.0%	98.0%		
		実績	99.0%	99.0%			
	進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 対応や説明について、99%の方から「良い」、「やや良い」との評価を頂いた。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 令和7年度は対象年齢を75歳以上から70歳以上に拡大することとしているが、需要増に伴う経営への影響を注視していく必要がある。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 財政状況と執行体制を注視しながら適切な業務規模を検討しなければならない。					
	バスツアー・施設見学のアンケート調査(理解度・効果等) (%)	計画	95.0%	95.0%	95.0%		
		実績	86.0%	92.0%			
		進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 アンケート結果を元に、悪天候時の代替ルートを準備したり、参加者の安全に配慮しながら実施した。計画値には及ばなかったが、92%の方から「内容に満足」との評価を頂いた。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 参加者のほとんどが高齢者であり、若い世代の参加者が極めて少数であることが課題となっている。				
課題への対応		【今後の課題への対応】 若い世代の方からも参加いただけるようなツアー内容を検討していく。					

改善指示事項		検針業務など市からの受託業務が将来的に競争入札に変更される場合に備えて、団体の自立性や強みをより高める取組を行う必要がある。					
改善に向けた取組み	改善のために取り組んだ内容	当財団は新潟市水道事業の合理的な運営に協力するために設立された団体であることを踏まえながら、自立性を高める方策を模索するとともに、個々のスキルアップに努めながら、新規受託事業について水道局と協議を進めている。					
	取組みによる成果	新規受託事業に対する水道局の考え方を確認できた。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	D	E
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	調査・検討・協議	計画	実施	実施	実施		
		実績	実施	実施			
評価指標	進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 水道局総務課と新規受託事業について検討している。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 新規受託事業のボリュームと、当財団の人員やスキルを精査したうえで検討を進めていかなければならない。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 双方にとって効果的な新規受託事業の開拓に向けて、継続的に協議していく。					

改善指示事項		令和4年度の検針業務の受託停止を見据え、団体が今後担っていく業務について水道局と協議、整理を進める必要がある。					
改善に向けた取組み	改善のために取り組んだ内容	新規受託事業について水道局と協議を進めている。					
	取組みによる成果	新規受託事業に対する水道局の考え方を確認できた。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	D	E
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	調査・検討・協議	計画	検討・協議	検討・協議	検討・協議		
		実績	調査・検討	検討・協議			
評価指標	進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 水道局総務課と新規受託事業について検討している。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 新規受託事業のボリュームと、当財団の人員やスキルを精査したうえで検討を進めていかなければならない。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 双方にとって効果的な新規受託事業の開拓に向けて、継続的に協議していく。					

改善指示事項		新事業の実施を踏まえた効率的な人員配置を検討していく必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	具体的な業務の内容が見えてきた段階で協議する。					
	取り組みによる成果	—					
	改善・対応区分	A	B	C	D	E ●	
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	計画	計画	検討・協議	検討・協議	検討・協議		
		実績	検討	検討			
評価指標	進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 具体的な業務の内容が見えてきた段階で協議する。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 —					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 —					

改善指示事項		あんしん水道診断の実施目標数を現在の水準以上に行える体制整備を早急に実現し、質・量ともに拡大すべきである。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	令和7年度から診断対象年齢を75歳以上から70歳以上に拡大することとした。					
	取り組みによる成果	令和7年度の実施結果を分析し、引き続き、業務の改善を図る。					
	改善・対応区分	A	● B	C	D	E	
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	計画	計画	調査・検討	準備	実施	実施	
		実績	調査・検討	準備	実施		
評価指標	進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和5年度中に診断対象年齢の拡大を決定した。令和6年度は診断対象区が中央区であったため、診断件数が多いことがわかっていたため準備期間とした。 令和7年度から対象年齢を拡大し実施する。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 診断対象年齢の拡大による需要増に対し、経営への影響を注視していく必要がある。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 財政状況と執行体制を注視しながら適切な業務規模を検討しなければならない。					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	令和6年度は新潟市の人事委員会勧告に伴う給料改定により、人件費が増大したことにより当期経常増減額がマイナスとなった。引き続き、財務の健全性の維持・向上に努める。
団体の自立性	市派遣職員が1名増加したため、市職員比率は増加した。財政的依存度については、ほぼ100%となっており、自立性を高める方策を模索するとともに、個々のスキルアップに努める。
経営の効率性・適正性	管理費率、職員1人当たりの管理費は低水準であり、効率的と言える。人件費率が高く、かつ増加傾向にあるが、当財団が行う業務は労働集約型であることから、適正であると考ええる。
その他	

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

各種評価指標が示すとおり改善が必要な項目もありますが、引き続き財務の健全性に努め、公益法人として新潟市水道事業の効率的な事業運営に寄与する。
--

【所管課による評価】

<p>「あんしん水道診断事業」では、実施後のアンケート調査等から、同事業は市民からの需要が高く、効果的であることが示されている。令和5年度から本事業の拡大を行う方針が立てられており、計画通りに進めてもらいたい。「バスツアー・施設見学」においても、計画値には届かなかったものの前年度から満足度の向上がみられた。今後も市民生活の維持向上に寄与する事業を効果的かつ効率的に実施できるよう支援・指導を行っていく。</p> <p>また、公益財団法人としての高い信頼性に加え、当財団が有する本市水道事業に関する包括的な知見に基づき、当局と同水準のサービスをより経済的に提供して業務効率化に寄与できる優位性を活かせる新規業務について、自立的な企画提案が実施されるよう支援を続けていく。</p>

【総合評価】

概ね良好	● 改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
主な評価及び改善指示事項			
<p><外郭団体に対するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の業務量平準化を目的とした事務所の統合やグループ制の導入により、時間外勤務時間数を大幅に削減したことは評価できる。 ・主要事業の多くは市からの委託により行われており、また、収益事業も廃止されたことから、市への依存度が高まっている。団体のあり方や事業の方向性について、市と協議の上、整理する必要がある。 ・利益を追求する団体ではないが、2期連続の赤字となっており、経営が安定するよう改善を図る必要がある。 <p><所管課に対するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実質的に水道局のコア業務の一部を担う存在となっていることから、市としても、数年先までを見据えて、団体のあり方や業務委託の範囲について整理する必要がある。 			

【総合評価を受けての団体としての決意】

<p>令和8年3月5日 理事長 川井 直光</p> <p>引き続き、業務の効率的かつ効果的な実施に取り組むとともに、当財団のあり方や事業の方向性について水道局と協議を重ねていきます。</p> <p>また、2期連続の赤字については経営上の重要課題と真摯に受け止め、中期的収支均衡を図りながら健全な事業運営に努めていきます。</p>
--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

<外郭団体に対するもの>

改善指示事項		市への依存度が高まっていることから、団体のあり方や事業の方向性について、市と協議の上、整理する必要がある。				
評価指標	実施事項	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	水道局との協議	計画			協議	協議
		実績				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 新潟市水道事業の合理的な運営に協力するという設立趣旨に基づき、水道局との密接な連携を維持しつつ、社会情勢の変化に即した補完的役割を改めて明確にする必要がある。			
課題への対応	【今後の課題への対応】 水道局と定期的に協議の場を設け、当財団の進むべき方向性を改めて明確にする。					

<所管課に対するもの>

改善指示事項		水道局のコア業務の一部を担う存在となっていることから、市としても、数年先までを見据えて、団体のあり方や業務委託の範囲について整理する必要がある。				
評価指標	実施事項	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	新潟水道サービスと定期的に協議を行う	計画	—	—	協議	協議
		実績	—	—		
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 これまでも委託範囲の見直しを適宜行ってきたが、将来を見据えた計画的な見直しが不十分な面もあった。数年先を見据えた委託範囲の見直しが必要である。			
課題への対応	【今後の課題への対応】 定期的に新潟水道サービスと協議の場を持ち、現状の課題を整理し、将来に向けた団体のあり方について共通認識を持ち、中長期的な視点から団体のあり方や業務委託の範囲について整理する。					